

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - (1) 胃潰瘍又はその既往歴のある患者〔胃液分泌を促進するため、悪影響を及ぼすおそれがある。〕
 - (2) 心疾患のある患者〔徐脈又は頻脈を起こすことがある。〕
 - (3) 緑内障の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
キサンチン系薬剤 アミノフィリン ジプロフィリン テオフィリン等 中枢神経興奮薬	過度の中枢神経刺激作用があらわれることがある。	併用薬の代謝・排泄を遅延させることがある。
MAO阻害剤	頻脈、血圧上昇等があらわれることがある。	
シメチジン	過度の中枢神経刺激作用があらわれることがある。	本剤の代謝・排泄を遅延させることがある。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
大量投与	振せん、不整脈、虚脱、めまい、不眠、不安、瞳孔散大等

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

胎盤を通過し、また、母乳中に容易に移行するので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦には、長期連用を避けること。

6. 過量投与

徴候、症状：消化器症状（悪心、嘔吐等）、循環器症状（不整脈、血圧上昇等）、精神神経症状（痙攣、昏睡）、呼吸器症状（呼吸促進、呼吸麻痺等）などの増悪を起こすことがある。

処置：胃洗浄や吸着剤・下剤の投与により薬物を除去し、輸液等により排泄促進を行う。また、興奮状態には対症療法としてジアゼパム注、フェノバルビタール注などの中枢神経抑制薬投与を考慮し、呼吸管理を実施する。

強心剤



※Caffeine Hydrate

500g

強心剤



カフェイン「ケンエー」

※Caffeine Hydrate

500g

※※規制区分：劇薬
貯法：気密容器
室温保存

※※2012年12月改訂（第3版）

※ 2008年3月改訂

日本標準商品分類番号 872115

承認番号	薬価収載	販売開始	再評価結果
(61AM)2163		1986年3月	1998年3月

※【組成・性状】

※【組成】

1g中 日局カフェイン水和物 1g含有。

〈性状〉

白色の柔らかい結晶又は粉末で、においはなく、味はやや苦い。乾燥空气中で風解する。

【効能・効果】

ねむけ、倦怠感、血管拡張性及び脳圧亢進性頭痛（片頭痛、高血圧性頭痛、カフェイン禁断性頭痛など）

※【用法・用量】

カフェイン水和物として、通常成人1回0.1～0.3gを1日2～3回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

製造番号

使用期限



箱



袋：PE



健栄製薬株式会社

大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
電話番号 06(6231)5626

〈調剤包装単位用コード〉



011111101111

〈販売包装単位用コード〉



011111101111